

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課担当課長 杉田 公敬		
都整-30	重点事業	雨水排水施設整備事業 (特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	下水道河川課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道・河川の整備・管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	雨水排水整備による浸水被害の防御のため。
効果	浸水被害等の解消を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害解消に向け、公共下水道の雨水管渠を整備した。(古ガ沢排水区 外2件)</li> <li>・関谷川第2雨水幹線外2件の雨水管築造工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。</li> <li>・前年度から事故繰越しした、梅田川排水区の雨水管築造工事を行った。</li> <li>・下水道法第23条(公共下水道台帳の作成・保管・閲覧の義務付け)に基づき、下水道台帳の調製を行い、市民等への情報提供を行った。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	148,981	77,295	当初予算(千円)	295,853			
	国県支出金	8,215	2,492	国県支出金	7,500			
	地方債	118,593	63,564	地方債	268,944			
	その他			その他				
	一般財源	22,173	11,239	一般財源	19,409			
事業運営	人員配置数	4.5	4.2	人員配置数	4.7			
	人件費(千円)	35,019	33,142	人件費(千円)	37,038			
	総事業費(千円)	184,000	110,437	総事業費(千円)	332,891			
	市民1人当りの経費(円)	1,038	624	市民1人当りの経費(円)	1,886			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 浸水地域を対象として、公共下水道(雨水)の整備等を策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策計画基本計画」を基に、効率的な雨水施設の整備を進めるため、予算規模を拡大する必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	浸水被害の防止は市民生活と直接結びついていることから、事業費を拡大する必要がある。未整備箇所が多くは、埋設物等により、限られた状況下での工事が必要となることや、埋設物が支障物となり、施工できない状況であることから、効率的な整備を行うためには、予算規模を拡大し、優先順位を付け、費用対効果を考慮して事業を進めていく必要がある。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	道路幅員が狭く埋設物が輻輳していることから、雨水排水施設の新規整備においては障害となっている。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	雨水排水施設の埋設位置及び形状を変更することにより対応した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	雨水排水施設の整備での既存埋設物による移設費等の増大が懸念される。浸水被害の解消には、内水対策として雨水調整池・貯留管等の設置が必要ではあるが、用地確保、国庫補助取得などの課題がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	雨水整備率(下水道による都市浸水対策達成率)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	実績78.4%	実績66.8%	実績49.4%	実績78.9%	実績93.7%	実績64.7%		実績99.3%	実績68.3%
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内一般都市平均と比較し、高い達成率となっている。(64.9%)								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	雨水整備率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
浸水被害の解消には雨水整備率の向上が不可欠なため。	目標値	77.6	77.9	78.0	78.3	78.6	78.9
	実績値	77.6	77.7	77.7			
	達成率	100.0%	99.7%	99.6%			
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	雨水整備事業には多大な費用を要するため、飛躍的な雨水整備率の上昇はさせることはできない。						